

令和 6 年度第 17 回
フィットネスクラブ・マネジメント技能検定
1 級実技口述問題

実施日：令和 7 年 2 月 23 日 (日)
試験時間：考慮時間 20 分、口述試験 10 分

注 意

1. 口述試験の問題は、設問 2 つ (計 50 点満点) です。別途行う小論文の面接試験 (50 点) と合わせて、実技試験は 100 点満点です。
2. 筆記用具、電卓の持ち込みが認められています。
3. 法令等に関する問題については、特に指示のない限り、2024 年 4 月 1 日現在施行の法令等に基づいて回答して下さい。
4. 20 分間の考慮時間ののち、設問に対して面接官による 10 分間の口述試験を行います。考慮時間中は検討メモを作成しても構いません。(自分で作成したメモを口述試験の場に持ち込んでも構いません。)

会 場

受検番号	0	1	7		0	1	2	0	0		
------	---	---	---	--	---	---	---	---	---	--	--

氏 名

--

設問1 フィットネスクラブA（ジム、スタジオ型）では直近3年間、会員数が徐々に減少し、売上が減少傾向であった。売上が向上しないことから2024年4月より大幅なコスト削減対策を取ったところ、フィットネス会員数が1年間で100名減ってしまった。そのため、立て直しを図ることが急務である。当該クラブのおかれている状況を読み取り、問1～3に答えなさい。
尚、当該クラブは前年から現在に至る期間中、会費の値上げはしていない。

問1 資料1から読み取れる問題点として大きな項目を2つ、それを示す数値(増減比率を含む)を挙げなさい。なお、会員数100名減少という解答は問題文に記載があるため認めないこととする。

問2 資料1から会員数の減少に大きく影響を及ぼした原因となったコスト削減対策は何であったのか、考えられることを一つ述べなさい。

問3 最も大幅に減少している層の会員数を戻す対策を、コストを意識しつつ一組（対策とコスト抑制策それぞれ一つ）挙げなさい。

資料1 入会数、退会数、来館数、会員数の推移

項目	2023年12月（前年）	2024年12月（現在）
入会数	60名	—
入会率	3.00%	2.95%
退会数	—	62名
退会率	3.10%	3.26%
来館数（日々平均）	540名	530名
会員数（男女計）	2,000名	1,900名
女性会員数比率	43%	38%

※本表では試験問題の性質上、明らかにできない部分は「—」で示してある。

(設問2 スタッフの人事労務管理に関して以下の記述を読んで、問1～3に答えなさい。
 当クラブは、総合型フィットネスクラブとして多岐に渡る種目を実施しており、全て
 プロパー(自社雇用)のスタッフで運営している。クラブの営業、売上、勤務状況情報は
 資料2～資料4のとおりである。

問1 年間変形労働時間制度を導入する目的について2つ述べなさい。

問2 現在の売上高人件費比率を計算しなさい(小数点第一位までとする)。また、この比率を1.0%改善した
 場合の、月の削減額を計算しなさい(小数点第一位以下切り捨てとする)。

問3 全体収支を悪化させることなく、業務見直しまたは運営方法の変更について、具合的な対策を2つ
 あげ、両方で人件費率1%の削減を図りなさい。また、それらの対策が有効である根拠となる考え方を
 述べなさい。

資料2 クラブ営業情報

営業時間	月～土 9:00～24:00 日 9:00～22:00
休館日	毎月10日と20日
施設内容	マシンジム・プール(25m×6コース) スタジオ2面 ・テニスコート・スカッシュコート2面 ゴルフレンジ5打席
スクール事業	(大人向け)スイミングスクール・テニススクール・スカッシュスクール・バレエスクール・ゴルフスクール
	(子供向け)スイミングスクール・体育スクール・ダンススクール・バレエスクール・テニススクール

資料3 売上情報

平均月在籍者数(スクール込み)	平均月会費(スクール込み)
8,000名	8,000円

(月会費売上以外の売り上げは本問題では顧慮しないものとする。)

資料4 勤務状況情報

	正社員	有期契約社員	短時間雇用社員 (アルバイト)
雇用数	10名	20名	50名
所定内給与	40万円/月	30万円/月	1500円/時間
月労働時間	170時間/名	170時間/名	100時間/名
月残業時間	50万円	30万円	20万円

以上